

## ✔ XOOPSインストール方法★

### 1.データベースの準備



The screenshot shows the phpMyAdmin interface. On the left, there is a logo for 'データベース DE phpMyAdmin'. On the right, there is a button labeled 'DBマネージャー' (DB Manager) and text that says 'データベース「MySQL」を利用する事が出来ます。' (You can use the database 'MySQL').

XOOPS を使うには、MySQL が必要です。[ユーザー専用ページ](#)にログインをし、メニュー「ホームページ管理」ページの“DB マネージャー利用”ボタンをクリックし、データベースを作成して下さい。

### 2.XOOPS のダウンロード

XOOPS の本体をダウンロードし、FTP にてサーバーにアップロードします。  
XOOPS の本体は[こちら](#)からダウンロードできます。

コアパッケージ(日本語版) XOOPS 2.0.9.2 zip 形式 [2.0MB] をダウンロードして下さい。  
[2005/04/14 現在]

#### ダウンロード

下記リンクをクリック後、画面右側に表示される  をどれか1つクリックするとダウンロードが開始されます。

#### XOOPS v2

- コアパッケージ(日本語版)
- XOOPS 2.0.9.2
  - tar.gz形式 [1.4MB] - 2004年12月30日 **NEW!**
  - zip形式 [2.0MB] - 2004年12月30日 **NEW!**

ダウンロード後下記のようなファイルがありますので、ファイルを解凍して下さい。

xoops-2.0.9.2-ja-eucjp.zip

解凍ソフトをお持ちでない場合は下記サイトよりインストールを行って下さい。

[Lhaplus](#) [Lhaca デラックス版](#)

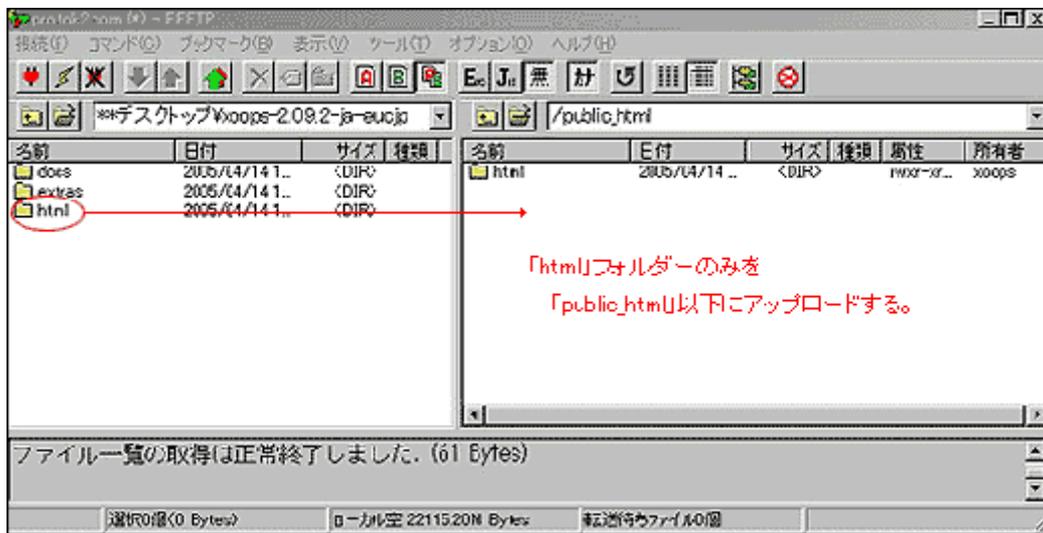
解凍して作成された xoops-2.0.9.2-ja-eucjp 内には、「docs」「extras」「html」の3つのフォルダがあります。



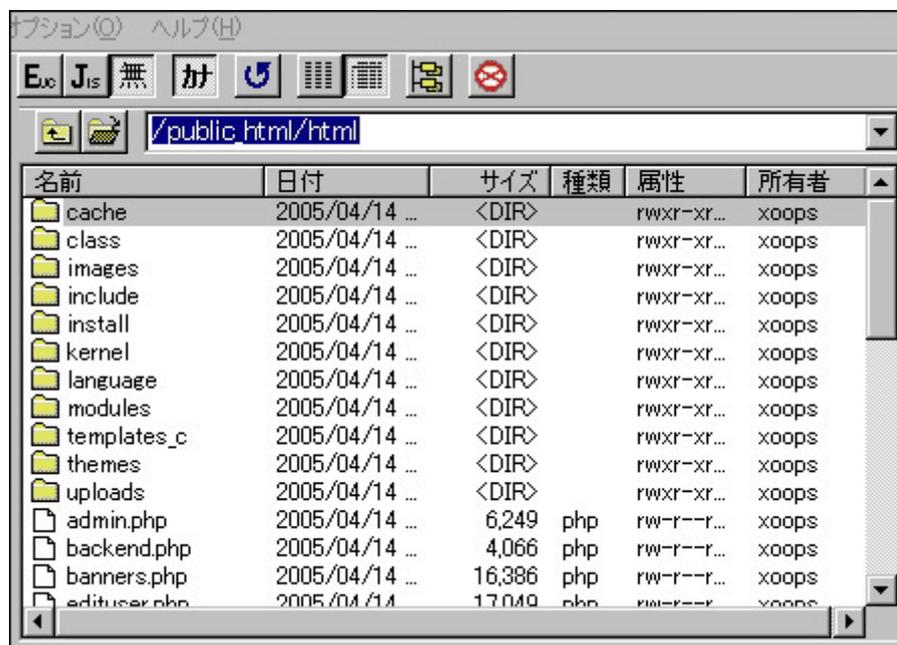
解凍したファイルの中から「**html**」フォルダだけを XOOPS を使いたい場所、**/public.html** というフォルダ以下に FTP にてアップロードします。アップロード先は必ず **/public.html** 以下へアップロードして下さい。

FTP ソフトをお持ちでないお客様は以下のページをご参照下さい。

[Windows の方](#) [Machintosh の方](#)



アップロードが済んだら、サーバ側の html というフォルダをマウスでダブルクリックして下さい。すると下記のような画面となります。



ファイル・フォルダー名	アクセス権
cache	777
templates_c	777
uploads	777
mainfile.php	666

「uploads」「cache」「templates\_c」「mainfile.php」の**アクセス権(パーミッション)**を以下のように変更して下さい。



アクセス権の変更は例えば「uploads」を777へ変更するには「uploads」のフォルダ上でマウスを右クリック属性変更(A)..を選択して下さい。

すると左のような画面が現れますのですべてにチェックして下さい。パーミッションの確認方法は「現在の属性」の横の数字で確認できます。



また、「mainfile.php」の場合は左のようにチェックをして下さい。  
 パーMISSIONの確認方法は「現在の属性」の横の数字で確認できます。

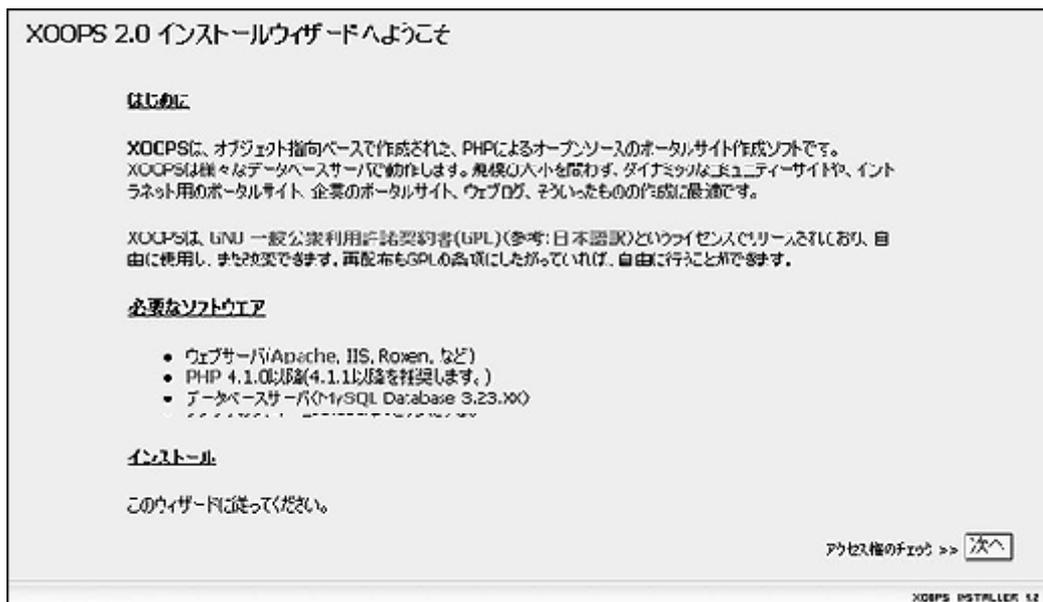
### 3.XOOPS のインストール

ブラウザで http://お客様のURL/html へアクセスして下さい。  
 するとインストールウィザードが開始されます。

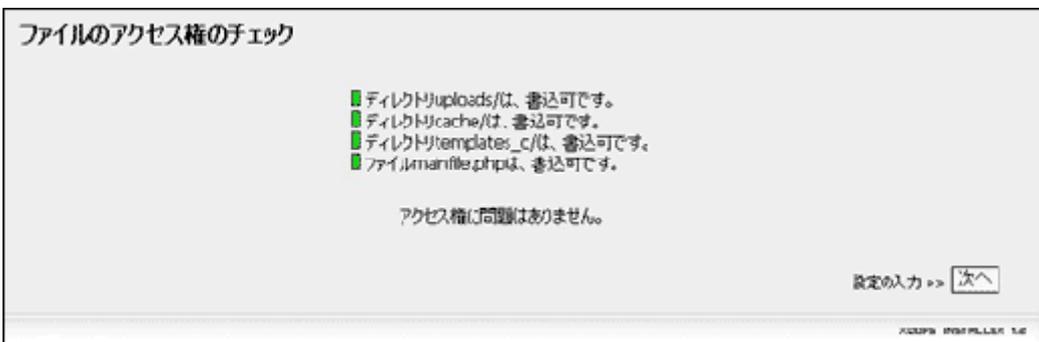
下記のような XOOPS のインストールウィザードページが表示されますので、これから以下の作業はすべて Web 画面上で操作を行っていきます。ウィザード画面が表示されたら、リストボックスから「japanese」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



インストールの説明画面が表示されますので、よく読んで「次へ」ボタンをクリックしましょう。



ここで、アクセス権が正しく設定されているかどうかの確認をしてください。  
 緑色のマークが付いたディレクトリとファイルが4つ表示されていれば「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。



アクセス権が正しくなく正しく設定されていなかったら、下記のような赤色のマークが付きます。その場合はお使いの FTP ソフトにて画面の指示に従ってアクセス権を変更してください。



次の画面では、XOOPS をインストールするディレクトリや、データベースの情報等を設定します。



### データベースサーバ

使用するデータベースサーバの種類を指定します。選択は「mysql」のみです。

### データベースサーバのホスト名

データベースサーバのホスト名を入力します。「mypro01.bfit.jp」という名前を入力してください。

### データベースユーザ名

データベースに接続する為のあなたが使用できるユーザ名を書きます。あなたの「ユーザーID」を入力してください。

### データベースパスワード

データベースに接続する為のあなたが使用できるユーザー名用のパスワードを書きます。

あなたの「パスワード」を入力してください。

### データベース名

XOOPS で使う為のデータベースの名前を入力します。  
あなたの「ユーザーID」を入力してください。

### テーブル接頭語

XOOPS が使うテーブル名の先頭に付ける接頭語を入力します。  
ほかのソフトウェアが使用するテーブル名と重複をしないように、わかりやすいものにしましょう。

### データベースへ持続的接続

ここでは必ず「いいえ」を選択してください。

### XOOPS へのパス

ホストコンピュータにおける、XOOPS までのフルパスを入力します。通常そのままで大丈夫です。

### XOOPS への URL

ブラウザで XOOPS にアクセスするための URL を入力します。通常そのままで大丈夫です。

すべての項目を入力したら「次へ」ボタンをクリックして進みます。

入力した内容の確認画面が表示されます。  
正しい事を確認して、「次へ」ボタンを押して進みましょう。

#### 設定内容の確認

データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	localhost
データベースユーザ名	xoops
データベースパスワード	xoops
データベース名	xoops
テーブル接頭語	xoops
データベースへ持続的接続	いいえ
XOOPSへのパス	/home/member/xoops/public_html/html
XOOPSへのURL	http://xoops.peacefully.jp/html

<< 設定の再入力 設定の保存 >>

書き込み処理の結果が表示されます。先頭に緑色の信号が付いた書き込み処理は正常に実行できています。すべてが正常に書き込み処理できたことを確認したら、「次へ」ボタンをクリックして進みます。

#### ファイル・ディレクトリのアクセス権をチェックしてください。

```
■ファイル./mainfile.phpがファイル./mainfile.dist.phpで上書きされました。
■定数XOOPS_ROOT_PATHが/home/member/xoops/public_html/htmlに設定されました。
■定数XOOPS_URLがhttp://peacefully.jp/htmlに設定されました。
■定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
■定数XOOPS_DB_PREFIXがxoopsに設定されました。
■定数XOOPS_DB_HOSTがlocalhostに設定されました。
■定数XOOPS_DB_USERがxoopsに設定されました。
■定数XOOPS_DB_PASSがxoopsに設定されました。
■定数XOOPS_DB_NAMEがxoopsに設定されました。
■定数XOOPS_DB_CHARSETが0に設定されました。
■定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
■定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
■定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。
■定数XOOPS_CHECK_PATHが0に設定されました。
```

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>

パス・URL の検証結果が表示されます。「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。  
間違っている場合は「戻る」ボタンをクリックして、インストールをはじめからやり直してください。

## パス・URLのチェック

- 検知されたルートディレクトリのパスは、設定されたもの(XCOPE\_ROOT\_PATH)と一致しています。
- 設定されたURLは、正しい形式です。

XOOPSのディレクトリへのパス: `/home/member/xoops/public_html/html`  
XOOPSへのURL: `http://xoops.peacefully.jp/html`

上記設定が正しい場合は、インストールを続けてください。  
間違っている場合は、はじめからやり直してください。  
または、mainfile.phpを直接編集して、このページを再読み込みしてください。

[戻る](#) <<はじめからやり直す

[再読み込み](#)

データベース設定の確認 >> [次へ](#)

「データベース、およびパス・URL の設定」で入力したデータベース情報の内容が表示されます。正しい場合は「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。間違っている場合は「戻る」ボタンをクリックして、インストールをはじめからやり直してください。

## データベース設定の確認

データベースサーバのホスト名	localhost
データベースユーザ名	xoops
データベース名	xoops
テーブル前缀	xoops

上記設定が正しい場合は、インストールを続けてください。  
間違っている場合は、はじめからやり直してください。  
または、mainfile.phpを直接編集して、このページを再読み込みしてください。

[戻る](#) <<はじめからやり直す

[再読み込み](#)

データベースをチェック >> [次へ](#)

「データベース、およびパス・URL の設定」で入力したデータベース情報正しいかどうかの確認画面が表示されます。緑色のマークが2つでなければ問題はありませので、「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。データベース情報が正しくない場合は入力したデータベースユーザ名・パスワードまたはデータベース名が間違っているか、PHP・データベースサーバの設定が間違っています。「戻る」ボタンをクリックして、インストールをはじめからやり直してください。>

## データベースをチェック

- データベースサーバへ接続できます。
- データベースxoopsは存在し、接続可能です。

データベースサーバへの接続の問題はありません。  
下記のボタンをクリックすると、データベーステーブルを作成します。

データベーステーブル作成 >> [次へ](#)

データベースに XOOPS のテーブルが作成され、作成結果が表示されます。全て緑色のマークが付いていれば正常に作成されていますので「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。

- xoops\_tplsetテーブルを作成しました。
- xoops\_tplfileテーブルを作成しました。
- xoops\_tplsourceテーブルを作成しました。
- xoops\_usersテーブルを作成しました。

データベーステーブルが作成されました。

サイト管理者に付いたの設定 >> [次へ](#)

管理者ユーザを作成します。  
インストールが済んだらこの管理者ユーザ名でログインして XOOPS の設定をします。

ユーザ名とパスワードは忘れないようにしてください。  
「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。

サイト管理者のユーザ名、ユーザパスワード、およびメールアドレスを入力してください。

管理者ユーザ名	<input type="text"/>
管理者メールアドレス	<input type="text"/>
管理者パスワード	<input type="password"/>
管理者パスワード(再入力)	<input type="password"/>

データの生成 >>

データ-ベースに初期データが書き込まれ、その結果報告が表示されます。「次へ」ボタンをクリックして進みましょう。

データの生成

- 1個のデータがデータベースxoops\_barnerdentにINSERTされました。
- 6個のデータがデータベースxoops\_configcategoryにINSERTされました。
- 27個のデータがデータベースxoops\_configoptionにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースxoops\_imgsetにINSERTされました。
- 14個のデータがデータベースxoops\_imgset\_tplset\_inklにINSERTされました。
- 7個のデータがデータベースxoops\_rankslにINSERTされました。
- 17個のデータがデータベースxoops\_smilesにINSERTされました。
- 3個のデータがデータベースxoops\_groupsにINSERTされました。
- 2個のデータがデータベースxoops\_groups\_users\_inklにINSERTされました。
- 55個のデータがデータベースxoops\_group\_permissionにINSERTされました。
- 3個のデータがデータベースxoops\_barnerにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースxoops\_tplsetlにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースxoops\_modulesにINSERTされました。
- 26個のデータがデータベースxoops\_tplfileにINSERTされました。
- 26個のデータがデータベースxoops\_tplsourcelにINSERTされました。
- 12個のデータがデータベースxoops\_newblockslにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースxoops\_userslにINSERTされました。
- 12個のデータがデータベースxoops\_block\_module\_inklにINSERTされました。
- 71個のデータがデータベースxoops\_configにINSERTされました。

- 定数XOOPS\_GROUP\_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS\_GROUP\_USERSが3に設定されました。
- 定数XOOPS\_GROUP\_ANONYMOUSが0に設定されました。

完了 >>

下記のような画面が表示されて、インストール完了です。

**インストール完了**

**サイト**  
インストールされたサイトを見るには、[ここをクリックしてください。](#)

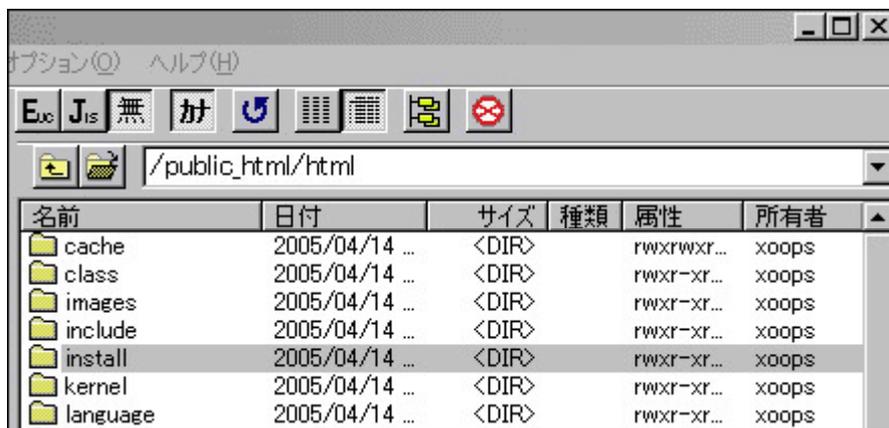
**XOOPSの使い方について**  
[\[本記述\]](#)

**サポート**  
[XOOPS.orgサイト\(英語\)](#)か、[XOOPS日本語公式サイト](#)に[お問い合わせ](#)ください。

## 4.最後に

最後の後処理となりますが、FTPで再度サーバへ接続して下記の2つの作業を行って下さい。

1. 「html」というフォルダ内の「install」というフォルダを完全に削除して下さい。  
「install」のフォルダの上で右クリック 削除(R) すべて削除(A) を選択して削除して下さい。



2. 「html」というフォルダ内の「mainfile.php」というファイルのアクセス権を「644」へ変更してください。  
 アクセス権の変更は例えば「mainfile.php」を「644」へ変更するには  
 「mainfile.php」のフォルダの上でマウスを右クリック 属性変更(A).. を選択して下さい。  
 すると下記のような画面が現れますので「644」へ変更して下さい。  
 パーMISSIONの確認方法は「現在の属性」の横の数字で確認できます。



インストールした Xoops サイトへ実際にアクセスしてみて動作確認を行って下さい。  
 ブラウザで <http://お客様のURL/html> へアクセスして下さい。



以上で Xoops のインストールはすべて完了しました。  
 なお、xoops の設定方法などにつきましては xoops のサイトなどその他解説サイトをご参考下さい。  
 弊社では xoops の設定方法のサポートは行っておりませんのでご了承下さい。